平成24年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

提案機関名 水産課 (整理番号) 0.05

水質浄化及び漁家の経営安定化に寄与する東京湾における貝類、ナマコ、海草 要望問題名 の複合養殖に関する研究

要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】

近年、東京湾の横浜市、横須賀市の底びき網漁業はシャコやマコガレイなど主力となる対象 資源が減少し、漁業者は厳しい経営を強いられている。ここ数年来、資源回復を図るため禁漁 などの資源管理措置を行ってきたが、未だに十分な資源回復は見られていない。シャコやマコ ガレイが減少した原因は特定されていないが、一因として東京湾の水質や底質の悪化に伴う低 酸素水塊(青潮)の出現が影響している可能性が考えられる。

一方、カキ、ナマコ、ワカメ、コンブなどの養殖は、プランクトン、デトリタス、栄養塩等 の摂餌、吸収により漁場環境を改善する機能を持つとともに、漁業者にとっては新たな収入源 となることから東京湾で普及していくことが望まれる。特に、カキの養殖施設の下部や近傍で ナマコやワカメ養殖を行う複合養殖は、二枚貝が排出する糞をナマコや海藻が利用する点で合 理的であり、養殖による環境負荷を軽減できる可能性がある。現在、横浜市漁協及び横須賀市 東部漁協ではすでにカキ養殖を試験的に行っているが、上述の観点を踏まえ、これら施設を核 とした複合養殖試験に取り組むことで、技術的問題点やその効果を明らかにすることを要望す

解決希望年限

1 年以内

② 2 ~ 3 年以内

③4~5年以内

④5~10年以内

対応を希望す

①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター

る研究機関名

④自然環境保全センター

備考

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名 担当部所 水産技術センター 企画経営部

対応区分

①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可

研究課題名 (①、②、④の場合)

対応の内容等

ワカメ、コンブ養殖については既に区画漁業権により実施されているところですが、ナマ コの資源生態調査に今年度から着手したところであり、この調査を通じて増養殖適地等につい ても把握する予定です。また、カキ養殖については試験段階であり、水域の制約的特性から主 たる負荷要因となるほどの規模拡大は考え難いところです。概念的には複合養殖の提案は理解 しますが、漁場利用の問題もあり、まずは個々の種の増養殖手法の検討を進めてまいります。

解決予定年限

①1年以内 ②2~3年以内 ③4~5年以内 ④5~10年以内

備考